

霧島

広報きりしま

9

September, 2011
VOL.128

Kirishima City Public Relations, Japan
2011.9.6発行 VOL.128

霧島 広報きりしま



発行/〒899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45-1 世/0995-45-5111(代)
ホームページ/URL http://www.city.kirishima.jp ■メールアドレス/Email info@city.kirishima.jp
編集/秘書広報課 TEL/0995-64-0955 FAX/0995-64-0934 ■印刷/国分新報社印刷

広告



鹿児島中央駅東口から 徒歩1分 債務整理

地元で安心

- 過払請求** 過払金返還請求費用
 - ◎過払金返還額の21%
 - ※ただし訴訟手続が必要な場合、過払金返還額の26.25%及び実費
- 任意整理** 任意整理手続費用
 - ◎基本報酬 1社 21,000円 ◎成功報酬 債務減額分の5.25%
 - ◎保証人処理 1社 5,250円
- 破産申立** 自己破産申立手続費用
 - ◎157,500円～315,000円(実費含)
 - ※管財事件の場合 別途 管財人費用必要
- 個人再生** 個人再生申立手続費用
 - ◎367,500円(実費含)
 - ※住宅資金特別条項適用の場合 別途 52,500円

保証人付の債務

スタッフ全員であなたを
全力サポートします。

まずはお電話を

◎来所可能な方のみ 依頼をお受けできます 要予約 ☎ **0800-200-4560**
◎債務に関する相談専用フリーダイヤル
〒890-0053 鹿児島市中央町19-1 桜ビル2階・3階 Tel.099-806-0707 Fax.099-806-0808

鹿児島県司法書士会 所属/鹿児島県第744号/訴訟代理能力認定番号729074号/所長 北川史郎 [司法書士代理権の上限は140万円]

北川史郎司法書士事務所

■通常業務(無休)平日/AM9:00~PM8:00 土/AM9:00~PM6:00 日・祝日/AM9:00~PM3:00 北川史郎 検索

絆 Special Feature
が生んだ
明日への希望
[KIZUNA]





うつくしま福島の家
諏訪園厚子さん

「福島のために」その思いで必死に活動し、1か月足らずで23家族61人のホームステイを実現。諏訪園さんは「たくさんの方の協力があつたか

支え合うことの大切さ

被災者からの相談も寄せられる諏訪園さんたち。中でも多かったのが「放射線が不安。夏休みだけでも子どもを遠くにやりたい」。その思い

子どものために

からこそ実現しました。2週間の生活費は全て受け入れ家庭の負担で、滞在中は思い出作りにいるなど、連日行ってきた。皆さんの優しさに感謝、支え合うことの大切さを改めて感じました」と振り返ります。

2歳・4歳・6歳の3人の子どもを抱え、福島県から国分川原の木場須美子さんにホームステイした氏家奈緒子さん。初めての土地での生活に不安もありましたが、「子どものために」という思いが氏家さんを動かしました。

「原発事故で私たちの生活は大きく変わりました。放射線への不安から子どもたちは外で遊べなくなり、公園は草だらけ、まちはあまり人を見かけなくなりました。一番辛いのが子どもたちに「外で遊びたい」と言われた時。夏休みだけでも外で遊ばせたい」と思い参加しました。

ホームステイ先では、地域をあげて歓迎してくれました。野菜や果物を差し入れてしてく



フェリーが到着した志布志港にて



ホームステイ先でホームパーティ



【KIZUNA】

が生んだ 明日への希望

福島第一原発事故により、大きな影響を受けている福島県の子どもたちを元気にするために、福島県人会と歌手の長渕剛さんがそれぞれ応援プロジェクトを展開。そこでは、たくさんの霧島市民の思いがつながり、子どもたちの笑顔が広がっていました。

故郷を思う気持は、どこに行っても変わらない

東日本大震災を受けて4月20日、霧島市で福島県人会「うつくしま福島の家」が発足しました。発起人は、福島県出身で霧島市在住の諏訪園厚子さん。原発事故により大きな被害を受けた故郷のために被災者の一時受け入れや就労支援などに取り組みんでいます。今では、県内各地から40人を超える会員が集まりました。「うつくしま、ふくしま」は福島県のキャッチフレーズ。福島県人なら誰もが知る名前を付けることで、今だけでなく、これからもずっと故郷のことを思い続けるという意味を込めて会の名称にしました。諏訪園さんは「結婚を機に福島を離れて34年、福島は故郷だと思っただけでしたが、だからと言って何かするということは無かったです。でも、今回の震災で福島の危機を感じ、居ても立ってもいられなくて3月末には福島に行き現地の状況を肌で感じ、4月には県人会を発足しました。震災から激動の5か月、振り返ると自分には福島の血が流れ

INTERVIEW 福島からのホームステイ受け入れ家庭

木場須美子さん
(国分川原)



被災者のために何かできないかと思っていました。そんなとき知人から今回の受け入れの話聞き受けました。でも私は年金暮らし。正直、4人分の生活費をどう賄うか不安もありました。そんな私を助けてくれたのが地域の方です。米や野菜、生活費などをカンパしてくれました。地域の子どもたちはほとんど毎日、福島の子どもと遊んでくれました。皆さんの支えがなかったら受け入れはできなかった。支え合うことの大切さを改めて感じました。

松田真一さん
(国分松木)



インターネットで今回のホームステイのことを知り、すぐに受け入れを申し込みました。霧島に来た時、夏なのに子どもたちは長袖・長ズボン姿で、表情は暗かったです。でも、地域の方がイベントに誘ってくれたり、川や海など霧島の自然の中で遊ばせたりするうちに笑顔がどんどん増えていきました。子どもたちには「いつでも歓迎するから」と伝えました。霧島で支えてくれたみんなの思いを感じ、これからも頑張ろうと思ってもらえたらうれしいです。



氏家奈緒子さん・遼侍君(6歳/左)・蓮ちゃん(4歳/右)・巡ちゃん(2歳/中央)

木場さんや地域の方の優しさに触れ、知らない場所でも地域の方と支え合って生きていける自信が持てました。安心して暮らせる日が来たら故郷に帰ります。子どもたちには川原の方たちみたいな優しさで故郷を愛する心を持ってもらいたいです。氏家さんは「霧島に来て本

長瀨さんの思い、そして霧島の思いが子どもたちに笑顔を取り戻させた。

真っ黒に日焼けした「福島っ子」の笑い声が霧島の大空に響き渡りました。

福島第一原発事故の影響で避難生活を送る福島県の児童を励ますために、鹿児島県出身の歌手、長瀨剛さんが霧島の自然を満喫するツアーを企画。費用を全額負担して、避難命令により全国にバラバラで暮らす浪江町の児童20人を招待しました。

8月1日から7日間の日程で行われたツアーでは、釣りやブドウ狩り、池めぐり、空手、ピザ作りなどに挑戦。8月5日と6日には、二人ずつに分かれホームステイも体験し、市民と交流を深めました。

4日に行われた隼人港沖の「神造島」での無人島体験では、アジやサバなどを次々に釣り上げたり、長瀨さんと一緒に水上バイクで錦江湾を

疾走したりと、約5時間、思っきり遊びました。

この無人島での体験は子どもたちに変化をもたらしました。福島県の一部では、放射線の影響で子どもたちは外で遊ぶことができません。外出するときは長袖に長ズボン。避難所暮らしの子どもは周りの人に気を使って大声を出すこともできません。霧島に来た時、色白でおとなしかった子どもたちが、無人島で真っ赤に日焼けし、何も気にしないで大声で笑っていました。ようやく本来の子どもの姿を取り戻した瞬間でした。

ツアーに参加した浪江小学校5年の佐藤一樹君は「無人島が一番楽しかった。久しぶりに思いっきり外で遊べて、何かすっきりした気持ちになりました。また霧島に来たい」と笑顔で話していました。

福島っ子の

サマーキャンプin霧島

笑顔が輝いた7日間

つながる思い

今回のツアーには、多くの市民の方が協力してくれました。無人島では朝5時過ぎから霧島市おやじの会のメンバーが島に渡り、準備をしてくれました。その他にも体調の悪い子やけがをした子の手当をしてくれたり、ピザ作りを教えてください、アユの

塩焼きやバーベキューを準備してくれたり、地域や団体、企業など多くの方が「福島っ子に元気を」と長瀨さんの思いに賛同して協力してくれました。

子どもたちを引率した福島県荊野小の横山浩志教諭は「このツアーで5か月ぶりに友達に会えた子もいます。真っ黒に日焼けし、心の底から声を出す子どもたちを見て、涙が出るくらいうれしかった。こんな機会を与えてくれた長瀨さん、そして霧島の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。全国に応援してくれる人がいる、そのことを肌で感じ、これからも頑張れる勇気と希望が湧いてきました」と力強く話してくれました。

一人一人の力は小さくても、それがつながれば大きな力になる。そしてその力は被災者に勇気と希望を与えることができる。20人の福島っ子の笑顔が、そのことを教えてくれました。

子どもあってのおやじの会

霧島市おやじの会会長
愛甲信夫さん



今回は、おやじの会だけでなく地域の方や企業など、たくさんの方が協力してくれました。その一つ一つの思いがジグソーパズルのようになって、今回のツアーは成功しました。きっとここでの経験が、子どもたちには心の支えになると思います。おやじの会ではこれまでも、復興支援バザーや被災地に物資を送る活動してきました。子どもあってのおやじの会。これからも子どもの笑顔のために、みんなで協力して支援をしていきたいです。



絆 [KIZUNA]
が生んだ
明日への希望

17霧島市の特産アユは炭火焼で 18久しぶりの海が楽しそう 19教えてもらいピザ窯も手作り 20海で遊んだ後のごはんは最高 21自分たちで収穫したブドウはおいしい 22霧島中学校の吹奏楽部が演奏を披露。涙する子どもたちもいました 23長瀨さんがプレゼントしたお揃いのTシャツ。背中には「絆」の文字 24長瀨さんの手書き楽譜をもらいうれしそうな福島っ子 25草スキーで転倒。でも楽しそう 26桜島の長瀨さんのモニュメントの前で記念撮影 27神話の里公園のリフトに乗り楽しそう 28ボートに乗り久しぶりの海を満喫 29アユの塩焼きをガブリ「おいしい」 30別れの日、長瀨さんは一人一人を抱きしめて別れを惜しました 31空港にはホストファミリーも見送りに、その目には涙 32ピザ生地作りに悪戦苦闘 33海釣りではこんな大きな魚が釣れました

1京セラ国分工場で太陽光発電を学ぶ 2バスが見えなくなるまで子どもたちに手を振る長瀨さん 3神話の里公園でスライダーに挑戦 4初のブルーベリー狩り 5空手道場で長瀨さんと押し合いをする福島っ子 6和気公園では地域の方がアユの塩焼きを準備 7海釣りでは大漁 8お別れパーティーで長瀨さんと一緒に焼肉 9歓迎パーティーでは心のこもった、たくさんの料理がお出迎え 10医療スタッフの方が健康管理 11神造島で記念撮影 12長瀨さんの運転する水上バイクに乗って子どもたちは大はしゃぎ 13自分で作ったピザは最高 14空手道場で大声を出す子どもたち 15桜島で行ったコンサートの様子を説明する長瀨さん 16自分たちで収穫したブルーベリーでジャム作り

HOLD YOUR LAST CHANCE

作詞/長渕剛 作曲/長渕剛

傷つき 打ちのめされても
はいあがる力が欲しい
人は皆弱虫を 背負って生きている

にがい涙を かじっても
ほほえむ優しさが欲しい
君が愛にしがみつくなり
先ずは 君が強くなれ

Hold Your Last Chance
こて先ではがれ落ちる美しさより
Hold Your Last Chance
ひとつぶの汗の方がいい
二度と走れぬ 坂道を上ったら
Hold Your Last Chance

誰かが人生でつまづいたら
さしのべる思いやりが欲しい
人は皆淋しさを 背負って生きている

頬を突き刺す怖さがあったても
立ち向かう勇気が欲しい
曲がりくねった迷路で
真実の自分を探すんだ

Hold Your Last Chance
テーブルに飾られたバラより
Hold Your Last Chance
野に咲くれんげ草の方がいい
二度と走れぬ坂道を上ったら
Hold Your Last Chance
Hold Your Last Chance



「絆が生んだ 明日への希望」
9月11日、震災から半年を迎えます。あなたは今、何を思いますか。



つながり合う絆を大事にしたい

長渕剛、福島の子どもたちへ魂の叫び

「みんなの心の中に歌います」。そして始まった長渕剛ミニコンサート。市内の宿泊先で行われたお別れパーティーで、長渕さんは福島の子どもたちのために熱唱しました。「巡恋歌」、「HOLD YOUR LAST CHANCE」、「しあわせになろうよ」、そして「乾杯」。子どもたちとの距離50^{センチ}、ギター一本、マイクなし。心の中にまで響き渡る、まるで「魂の叫び」のような歌声に、一人また一人と子どもたちは大粒の涙を流しました。

長渕さんは、このミニコンサートのために、しっかりと発声練習をし、本当のコンサートのような準備で挑みました。そこには妥協を許さない思いがありました。「この日は2度とない、これが最後のチャンスだと思っ

て生きるんだ。そしたら無駄な時間なんて一つもない。遊ぶ時も一生懸命、勉強する時も一生懸命。君たちと会えるのはこれが最後かもしれない。僕はそう思って君たちと向き合ってきた」
無人島では、子どもたちと真剣に遊ぶ長渕さんの姿がありました。道場では心から声を出す姿がありました。そんな長渕さんの姿を見て、子どもたちも一生懸命遊び、一生懸命声を出しました。

「君たちが一生懸命声を出したり、遊んだりする姿を見て、自分の子どものころを思い出した。トンボの大きさを追いかけた、魚を追いかけた、そんな時、俺の前には大きな背中の親父がいた。大きな背中の大人がいた。いろんな大人がいるけど、今回出会った大人は素晴らしかった。それはなぜか、お前たちが素晴らしいからだ。俺たちはもっと手をつないで、勇気を出して幸せにならないといけない。幸せは転がっていかない。自分でつかまないといけない。た

つながり合う絆

くさんの幸せをつかんで初めて人に幸せを分けてあげられる。今回の経験を忘れずに人のために生きてほしい」
歌と一緒に送られる長渕さんのメッセージに、会場にいた子どもも大人もみんながうなずき涙しました。被災地では大人たちが子どもたちに希望を与えようと頑張っている。長渕さんの子どもたちと真剣に向き合う姿勢には、子どもだけでなく、私たち大人へのメッセージも込められていたのかもしれない。



Tsuyoshi Nagabuchi

1956年9月7日生まれ、鹿児島市育ち。日本のシンガーソングライター、俳優、詩人、画家。ソロアーティストとしてアルバム初登場一位獲得数12作品という記録もっている。Office REN(オフィス・レン)所属。

「今まで自分の人生だと思っていたが、震災を機に自分の次には子の世代、その次には孫の世代がある、そう未来を見据えたものの考え方をするようになった。次の世代が前の世代のしっぺ返しに合

うことのないように、みんながつながりあって頑張ろうじゃないか。絆」という字は、糸の半分と書く。僕と浪江の子どもたちが持った糸の端を、霧島の人たちが持ってくれた。つながり合うこんな絆を大事にしたい」

今回、たくさんの方が福島の子どもたちのために一つにつながり、思い出を作ってくれました。思い出は一生残る宝物。遠く離れた鹿児島で自分たちを思っていてくれる人がいる。このことで福島の子どもたちは笑顔になりました。長渕さんは最後に「お前たちに一つ故郷ができた。つらくなったら霧島にやっ来て」と言葉を送りました。



日本の元気を霧島から



【 K I Z U N A 】

「震災から家族が笑うことは、ほとんどありませんでした。心にぽっかり穴が開いたようでした。しかし、霧島から戻った息子の笑顔を見たとき、私たち家族まで希望の光を見つけたような気持ちになりました」。ツアーに参加した福島の子どもの保護者から届いたお便りです。

今回の大震災で改めて絆の大切さを知りました。絆には人や地域を元気にする力があります。その絆は、思いを行動にすることで生まれます。あなたの周りにたくさんの絆を生んでください。そのことが、あなたや地域を豊かにし、そして日本を元気にしてくれます。みんなの笑顔のためにまずは思いを行動にすることから始めてみませんか。



絆 [KIZUNA] が生んだ 明日への希望

CIVIC NEWS

5月13日現在の日本人の平均寿命は、男性が80歳、女性が86歳、男女合わせての平均が83歳と世界193か国中、1番の長寿国です。

霧島市の人口（7月31日現在）12万7756人のうち、65歳以上は2万8286人で総人口の22.14%で、去年と比べ0.02%減少しています。

市内の100歳以上の方は8月9日現在で68人。最高齢は中馬ミカさん（106）
 溝辺で、斜木ハヤさん（105）
 Ⅱ 国分、谷口ワサさん（105）
 Ⅱ 牧園、安栖ツナさん（105）
 Ⅱ 牧園の順となっています。

長生きの秘訣

中馬さんは、最近少し耳が遠くなりましたが、まだまだ元気いっぱい。話すことが大好きな中馬さんは満面の笑顔で話します。

長生きの秘訣は「好き嫌いでなく何でもよく食べ、そして

元気で楽しい生活を おくるために

一人暮らしや認知症の人をはじめ、介護保険サービスの対象とならない人や介護保険以外のサービスを利用したい人などをさまざまな形で支える事業を紹介します。

● 自立を支援する主なサービス

- ・生活支援型ホームヘルプサービスⅡ外出時の付き添い、生活必需品の買い物などを支援します。
- ・配食サービス活用事業Ⅱ日常的な見守りが必要な高齢者に対して配食サービスを行います。
- 一人暮らしの高齢者のための主なサービス
- ・緊急通報体制整備事業Ⅱ

毎日を楽しみ、くよくよせずに向きに過ぎること。2年前くらいに足のけがをしてしまい、なかなか体が思うように動けなくなりましたが、できるだけ体を動かし自分でも挑戦しようとする事が大切」とうれしそうに話します。

明るい色が大好きな中馬さんは、赤やピンクのマニキュアを塗るなど、おしゃれを楽しみながら毎日の生活を送っています。

末永くお元気で

市内の最高齢者から長生きの秘訣を学ぶ



中馬ミカさん
106歳

人暮らしの高齢者などが急病や災害時に対応するために緊急通報装置を設置し日常生活の安全を確保します。

● 家族を支援する主なサービス

- ・高齢者福祉手当Ⅱ在宅の寝たきり老人や重度認知症老人を長期にわたり介護している方に福祉手当が支給されます。

- ・家族介護用品支給事業Ⅱ在宅でおむつを必要とする高齢者を介護している家族に、おむつが支給されます。
- その他の主なサービス
- ・長寿祝金の支給Ⅱ高齢者に対し長寿を祝福しての長寿祝金を支給します。
- ・いきいきチケット（はり・きゅう受診券、温泉・バス利用券）Ⅱ高齢者や障害者

の健康維持を図るため、70歳以上の方や身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳をお持ちの方に、いきいきチケットが交付されます。

※他にも、いろいろなサービスがありますので、問い合わせください。

◎ 問Ⅱ 長寿・障害福祉課 ☎ (64) 0995

霧島かわら版

Zoom up Kirishima



安定的に良質な水を供給するために

霧島市と始良市の間で水道の水を供給しあうために「公の施設の区域外設置に関する協議書」の調印式が8月8日、霧島市役所でありました。これは、今まで安定的な

水の確保が難しかった隼人町小浜の小牧地区に始良市の水道施設から、加治木町日木山の中野簡易水道区域に霧島市の水道施設から給水しようとするものです。前田終止市長は「お互いのまちの懸案事項だったが、市境を超えて協力することで、問題解決につながった。これからも隣接市として共に力を合わせ、道路、水、海、山など改善していけたら」と話しました。



将来の夢について考えた立志塾

次代を担い世界へ羽ばたくリーダーを育成するための「きりしまっ子立志塾」が8月16日から18日の2泊3日で牧園町の霧島自然ふれあいセンターで行われました。

応募のあった市内の中学生24人が参加し企業、学識経験者、霧島市長などにゆかりのある方を講師に迎え、リーダーとしての資質や心構えに関することや課題解決方法などを学びました。受講した国分南中1年の安田菜摘さんは「人の気持ちを考え、感謝の心を忘れずに頑張れば将来、必ず自分に返ってくることを学び、とても勉強になった」と話していました。



カヌーで自然との触れ合い

小浜小学校（隼人）の3年生から6年生までの児童16人によるカヌー体験が8月20日に行われ、隼人港沖に浮かぶ弁天島から約5*。先の小浜海水浴場を目指しました。

子どもたちは総合的な学習の時間や夏休み期間中に5日間練習し、オールを使い方などの基本的な操作方法を小浜海水浴場で学びました。当日は風が強かったり波が高かったりと悪条件の中、約2時間かけて見事ゴールしました。カヌー初挑戦だった児童は「5*は思った以上に遠くて大変でした。最後まで諦めないでゴールできてうれしかった」と話していました。



全国大会で第3位に輝く

第42回全国中学校サッカー大会が8月18日から23日まで滋賀県で開催され、九州大会で春、夏連覇した国分中学校が出場しました。1回戦、2回戦と順調に勝ち上が

りましたが、準決勝で今回全国制覇した石川県代表の星稜中学校に惜しくも負けてしまいました。しかし全国の舞台で見事、第3位と素晴らしい成績を収めました。キャプテンの内屋椋佑君は「優勝目指して1戦1戦大事に戦いました。せっかくここまで優勝できなかったのは残念だけど日頃の練習の成果が、この3位につながったと思う」と話していました。



ふるさとを 海を川を ずっと 守り続ける ために

鹿兒島湾（錦江湾）は、外海のきれいな海水との水の出入りが少なく、川から流れ込む汚れが溜まりやすくなっています。そのため、川を美しく保つことが大切です。

川の汚れの原因

市内の河川を汚す最も大きな原因となっているのは、生活系排水で、全体の約7割を占めています。中でも台所からの汚れが一番大きく、例えば使用済み天ぷら油大さじ約1・3杯を流した場合、魚が死ぬような水にするためには、お風呂20杯分（約6リットル）の水が必要になります。

「食器などについた油汚れはふきとってから洗う」、「三角コーナーや水切りネットを活用し、食べ残しを直接流さない」、「洗剤は適量を使う」などのちょっとした心掛けが必要です。

環境浄化のために

川には自ら汚れをきれいにする力（自浄作用）があります。川に汚れが入ると微生物が水の中の酸素を利用してこ

の汚れを分解し、水をきれいにします。この効果を高めるために「エコきりしま」や「EM」など菌を利用した培養液が注目されています。

●エコきりしま

納豆やヨーグルトなどの食品に含まれる菌を利用して土着の微生物を活性化してくれる液体です。悪臭除去、水質浄化など地域の環境浄化や家庭の掃除（ぬめり取り）などに活用できます。

●EM（イーエム）

自然界に生息する有用な微生物を80種類以上集めた培養液です。家の悪臭除去や生活排水の浄化に役立ちます。

錦江湾奥会議設立

錦江湾の湾奥部に位置する自治体（霧島市・鹿兒島市・垂水市・始良市）が、行政区域を越えて連携を図り、環境・水産・観光・交通（道路）・防災・教育などのさまざまな施策、事業について協力し、地域活性化を図ることを目的として、錦江湾奥会議を8月22日、設立しました。

◎エコきりしまの作り方（20リットル）



- 材料** 三温糖 1kg、パン酵母（ドライイースト）80g、ヨーグルト 1kg、納豆 10粒程度、温水（40℃前後のぬるま湯）
- 道具** 洗面器（ボウルでも可）、泡立て器、茶こし、20ℓ用タンク、タオル、ヒーター—体型サーモスタット（熱帯魚用）※夏場は直射日光の下ならヒーターは不要
- 作り方**
- ① 三温糖とパン酵母を洗面器に入れて混ぜる。
 - ② ①に納豆とヨーグルトを加えてよくかき混ぜる。
 - ③ ②を茶こしでこしながら、タンクに入れる。（納豆の豆は不要。こしとる）
 - ④ タンクの8分目まで温水を足して軽く混ぜる。
 - ⑤ 中身が分離したら、タンクにヒーター（35℃設定）を入れ、タオルを挟み込んでふたをします。※ガスが充満して爆発しないように、ふたは緩めておきます。
 - ⑥ このまま1週間放置して完成。※使用期限=約3か月

まず、自分ができることから始めてみませんか。

※詳しくは市ホームページをご覧ください。環境衛生課 ☎(64) 0950へ問い合わせください。



『温もり』のある空間 牧園図書館

牧園図書館は、牧園高千穂地区公民館の1階にあります。蔵書は約1万7000冊。絵本や推理小説など多種多様な本がそろっており、お勧めの本や新刊コーナーなどを設け、利用しやすいように工夫しています。

室内には木製の本棚やベンチがあり、木の香りが漂い、温もりを感じる空間となっています。

極上の癒やし

この図書館の一番のお勧めが「癒やし」。図書室の和やかな空間はもちろん、近くには温泉や足湯、そしてリラックスクス効果がある森林セラピーロードがあります。

「読書の秋」「スポーツの秋」など秋にはいろいろな楽しみがあります。温泉を楽しむのにもいい季節。牧園図書館でお気に入りの本を見つけた後は、霧島市が誇る極上の癒やしをご堪能ください。



牧園町の昭和初期の写真も展示されている



文庫本



さまざまな本が並びます



温もりのある室内

夏バテ気味の心に読書で栄養を

霧島市立図書館に おいでください。

霧島市7か所の図書館（室）で本が借りられます。

- 【① 開館時間 ② 休館日】
- 国分図書館** / ☎64-0918
① 9:30~21:00
② 12月29日~1月3日
特別整理期間/6月中の10日間
- 隼人図書館** / ☎43-7574
① 平日/10:00~19:00
土・日・祝日/9:00~17:00
② 月曜日
12月29日~1月3日
特別整理期間/12月中10日以内
- 溝辺図書館** / ☎58-3191
① 8:30~19:00
② 12月29日~1月3日
- 横川図書館** / ☎72-1596
① 9:00~17:00
② 月曜日・祝日
12月29日~1月3日
- 牧園図書館** / ☎78-3349
① 8:30~19:00
② 月曜日
12月29日~1月3日
- 霧島図書館** / ☎57-0316
① 月・水・金 / 8:30~17:00
火・木・土 / 8:30~20:00
② 日曜日・祝日
12月29日~1月3日
- 福山図書館** / ☎56-2026
① 8:30~17:00
② 土・日曜日・祝日
12月29日~1月3日



戦国業師列伝

剣豪となり柳生石舟斎に新陰流の神髄を相伝した上泉伊勢守信綱、伊賀上野城や大阪城など無敵の城を築いた藤堂高虎。一流の業を操り乱世を生き抜いた異端児10人の生きざまを描く。

【硝子の鳥】新堂冬樹、【ニキの屈辱】山崎ナオコ、【峠うどん物語 上下】重松 清、【神君家康の密書】加藤 廣、【水底フェスタ】辻村深月、【レシピ本には書かれていない! 焼き菓子レシピのそこが知りたい】相原一吉、【世界を変えた10冊の本】池上 彰、【ぼうし】井上洋介、【あきねこ】たなか 鮎子、【婦命寺横丁の夏】柏葉幸子、【ゆめちゃんのハロウィーン】高林麻里、【津波!! 稲村の火 その後】高村忠範、【アートとマックス】デイヴィッド・ウィーズナー、【地球をほろ】川端 誠、【ぞうさんのおとしあな】高島 純

イベント名	日 時(対象)	場 所
幼児と小学生のためのおはなしの部屋 (りんごの木)	10月1日(土)10:30~11:30	国分図書館
赤ちゃんとかわらべうた・えほんのへや (りんごの木)	10月3日(月)10:30~11:00	
ほととの森おはなし会	9月10日(土)・24日(土)、10月8日(土)・22日(土)14:00~14:30	隼人図書館
おはなしの部屋	10月6日(木)16:00~16:30(幼児) 10月7日(金)11:00~11:30(赤ちゃん) 9月18日(日)11:00~11:30(幼児・小学生)	
語りの部屋(語りの会あもり)	9月11日(日)、10月9日(日)11:00~11:40	
おはなし会(おはなしの会「さんぼ道」)	9月17日(土)、10月15日(土)14:00~15:00	横川図書館
えほん・わらべうたのへや(紙ふうせん)	9月14日(水)、10月12日(水)10:30~11:30	霧島図書館
お話しの時間(紙ふうせん)	10月17日(月)15:30~16:30	
おはなし会	9月25日(日)13:30~13:50	比叡木野体育館(福山)

ぶるぶるつるんとして、もちもちの食感。口の中に広がる黒糖の風味は、何だか懐かしさを感じます。「ういろう」にも似たその食べ物は「ふっかん」といい、隼人町の浜之市で昔から作られてきた伝統菓子です。

ふっかんを製造・販売している隼人庵（隼人町富隈地区）の林薫さんは「浜之市は琉球との交易で黒砂糖が手に入ったので、それを使って作るようになったようです。富隈城のお殿様に献上したところ大変喜ばれ、自分だけでなく多くの民にも食べてほしいと言われたことから、人々に福が訪れることから、「福の羹（羊羹）」と呼ばれるようになったという説もあります。私の母が商品化しましたが、母の死を機に販売を辞めたところ、続けてほしいと多くの声をいただきました。地域の食文化と食べてくれる人のうれしそうな笑顔を守らねばと今も作り続



伝えたい伝統
広めたい懐かしの味

「受継がれる伝統
受け継がれる伝統
けています」と話します。

市食生活改善推進員の徳田トシさんは、40年前、隼人庵の近くに嫁いできた時ふっかんに出会いました。

「気取らない素朴な味が気に入りました。隼人庵の方に作り方を習い、家庭でも作れる簡単な作り方にアレンジ。田植えの時のお茶菓子としてよく食べていました」と話す徳田さんは、講師を務める福山地区の公民館講座で、先日ふっかんを作りました。

「生徒は全員ふっかんを知りませんでした。伝統のお菓子を後世に伝えつつ、隼人以外の地域の人も知ってもらえたら」と徳田さんはほほ笑みます。

何だか懐かしい味の正体は、長い歴史とそれを伝えたいという人々の思いかもしれません。



福山地区の公民館講座の皆さん（左から4番目が徳田トシさん）



隼人庵の林薫さん（左）と美代子さん（右）

レシピ

◎ふっかん 20個分
(徳田さんのレシピ)

【材料】
小麦粉300g、黒砂糖(粉状)300g、片栗粉20g、水700cc

【作り方】
①小麦粉、黒砂糖(粉状)、片栗粉を混ぜ、ふるう。
②①の中に水を入れ、ざるでこし、型(直径7cm程度のわん型)に流し入れる。
③20～25分蒸す。
④冷めたら竹串を使って型から取り出す。

※隼人庵のふっかんの販売は毎年5月～8月中旬まで。(現在販売していません。来年をお楽しみに)

EVENTS
環霧情報

祝! 日本ジオパーク認定



◎環霧島会議構成市町のイベントなどをご紹介します。

小林市

キャンドルナイト
コスモスin生駒高原



- ・日時=10月8日(土)～10日(月)
- ・場所=生駒高原
- ・入場料=高校生以上400円、中学生200円、小学生以下無料
- ・内容=2万個のキャンドルと500個の灯籠。今年はキャンドルアートbaseの東さんとのコラボ演出もあり、さらにキャンドル・夜景と満天の星空の中に咲く花火の競演もあります。

◎問=生駒高原「花の茶屋」 ☎0984(27)1919

高原町

神武の里
たかはる秋まつり



- ・日時=10月30日(日)午前9時から
- ・場所=高原町総合福祉センター、ほほえみ館周辺
- ・入場料=無料
- ・内容=町内で作られた特産の野菜、果実などが展示販売されるほか伝統芸能である「棒踊り」「和太鼓」の演奏や芸能大会などが行われます。

◎問=高原町商工会 ☎0984(42)1158

ジオパーク
発掘調査隊

今回は火山活動が活発になってきている新燃岳の起源と最大といわれている享保の噴火に関する記録について紹介します。

新燃岳の形成は約1万7000年前の韓国岳の形成と前後しており、1万5000年前には火山体が完成していたと考えられています。

その後、歴史時代以前の数度の噴火を除くと数千年は火山活動が穏やかで、火山活動の再開は江戸時代であり、残されている記録の中で最大の噴火が1716年～1717年の享保時代の噴火です。

都城島津家史料の「年代実録」では「両部岳の噴火を機

に「新燃」と呼ぶという記録が残され、この噴火で「新燃」と呼ぶようになったことが確認できます。

また、藩が編さんした「年代記」や「古今山之口記録」などから、この噴火により消失した家屋604軒、けが人33人、死んだ牛馬405頭、田畑の損害6240町などの被害を受けたことや現在はない国分松永川から土石流が発生したこと、あるいは、1717年正月以降に特に大きな被害を受けた高原や高崎の住民が都市や三股町、小林市に避難し、全員が戻ったのは2年後の1719年であったことなどが確認できます。

除去の作業従事者に藩から「夫飯(手当)」を支給されたことが記録に残されています。



「両部岳」の噴火を機に「新燃」と呼ぶという記録=享保期の噴火が新燃岳であることが分かります。
[年代実録](都城島津家史料)

※ジオパーク発掘調査隊は、霧島ジオパーク推進連絡協議会に加盟している霧島市、曾於市、高島郡の都城市、小林市、えびの市、高原町の5市1町の広報紙に掲載しています。

心

温まるハーモニカの音色と笑い声が園内に響きます。小さな体で和やかな雰囲気を出するのは隼人町の東郷スミ子さん(88)。

平成9年から月に1回、隼人町の老人福祉施設日当山春光園を訪れ、ボランティア活動としてハーモニカを演奏しています。演奏仲間の平田笑子さん(84)と中村淳子さん(75)の3人で入所者の方々に「森の熊さん」「赤とんぼ」などの昔懐かしい童謡を1時間ほどかけて演奏し、一緒に楽しんでいきます。

若いころ夫と上京した東郷さん。仕事の傍ら福祉施設で人生初のボランティアを始めます。きっかけは小さいころ、祖母に「人に対しての思いやりを忘れてはいけないよ。人のためになることをすれば必ず自分に返ってくるから」と言われ、自分に何ができるか考えた答えでした。施設内の草取りや洋服の縫い物をするなど多忙な毎日でしたが、みんなの笑顔を見ることで、やりがいやうれしさを覚え、「ボランティアとは、してあげるものではなく、させてもらっているものだ」と感じたのです。

その後、夫が定年退職となり隼人の実家に戻ることにになりました。地元でも何か私にできることがないか考えていた時、日当山春光園の職員から「園でお年寄りにハーモニカを吹いてもらえない



Harmonica

ですか」との話がありました。それがボランティアの再スタートでした。

「戦時中は、高価なものはない時代でした。特にハーモニカの値段は高く、簡単に手に入るものではありません。でも、なぜか兄が持っていたのです。留守の間にかつり吹いてみたら面白くて時がたつのも忘れ

るくらい吹いていた記憶があります。ハーモニカは誰にも教わらず自己流で練習し、知っていた歌を吹いていたら、自然と吹けるようになりました。これがハーモニカとの初めての出会いでした」と懐かしそうに話します。

月に1回の日当山春光園の演奏会には約30人の入所者が会場に集まります。「赤とんぼ」から始まり、楽譜を見ることなく一人一人の顔を見回しながら演奏します。東郷さんの楽しそうな演奏ぶりに聞いている皆さんの顔には笑みがこぼれ、中には懐かしい歌を聞いて手拍子をしたり、口ずさんだりと本当にうれしそうです。

東郷さんは恥ずかしがって歌えない人の横に寄り添い、ハーモニカの演奏に合わせ、そっと肩をたたきながら一緒に歌い、みんなと楽しめるような心遣いもしています。

園に持っていくハーモニカは8本。明るい歌、しんみりとした歌のイメージに合わせて使い分けま



懐かしい歌を演奏する東郷さん



日当山春光園での演奏は、皆が聞き入る



演奏仲間の平田笑子さん(右)と中村淳子さん(左)

す。「ハーモニカとの出会いと春光園の演奏会は何かの縁だと思っています。今まで出会ってきた人にお世話になってきたので、これからもこのような形で恩返しを続けていきたい」と話します。東郷さんには「先ず現在に感謝し、より向上へと最大の努力をなせ」という生活信条があります。この意味は、「いつどんな時でも現在に感謝し、今まで以上に努力をする」ということ。感謝の気持ちを忘れることなく、人に対しての思いやりが大切。東郷さんの思いやりを持った演奏と、それを受けとめる園の人々の笑顔は互いに触れ合います。それはまるで心のハーモニコになって、みんなを癒やしてくれるかのように。

奏でる音色は 優しさと思いやり



Profile

東郷スミ子さん(88)
隼人町東郷在住。20歳からハーモニカを始め、現在は日当山春光園でお年寄りの方に、昔懐かしい歌をボランティアで演奏し、皆さんのお役に立てればと励んでいる。

人の風景

THE SCENE
霧島に生きる



郷土史への扉

「人国記」という本があります。だいたいの室町時代後期の作品だろうといわれていますが、いつ誰が書いたか詳細は不明です。この本は今でいうところの「県民性」のはしりでしょう。古い言い方をすると「お国柄」とでもいうのでしょうか。どこの国の人はこんな人だ、という内容です。

大隅・薩摩国については意識すると次のとおりです。

「大隅・薩摩両国の風俗は違うところはな。みんな死を表にして、ただ男子は死ぬことを道理だと思っていて、五常の道（儒教で人の守るべき五つの道。仁・義・礼・智・信の五つの徳）というのはいり関係ないことと思っ

ている。仏法という死んでから後の細かい話だと考えているので、人の生き死にとは何かということについては役に立たないと自分の勝手な判断で遠ざけている。いつも主君と家臣の作法もあってないようなもので、主君という名だけは知っているが、侍は給料をくれる人のことを主君だと思っ

鹿児島人の性格

百姓は地頭（百姓から税金を徴収する役人）が偉いとか知らず、無礼な行動は挙げていってもきりがない。武士が戦場で死ぬのも、主君への忠義のために死ぬというのが素晴らしいということではなく、ただ武士は戦場で死ぬものだとばかり考えていて、どうして戦場で死ぬのかなど話をする様子もない。平和なときは主君が姿勢を正しくしているにも関わらず、家臣は足を伸ばす者や立ちながら主君と雑談をする者もたくさんいる。末代までずっとこのような風俗である」と散々書かれています。

つまりこの本によると室町時代末のころの大隅・薩摩の人々は、

- ①戦場で死ぬことしか考えていない。
- ②宗教なんかどうでもいい。
- ③道徳は分かっているけど、自分には関係ないと思っ
- ④目上の人を敬う気持ちがない。

というところになるでしょうか。

さらに、江戸時代の『新国記』

には大隅・薩摩は同じとしつつも、薩摩の条には「子供のつまらないけんかでも、負けたときには父親が子供に死をすすめることがあるらしい」と書かれ、「死を恐れないのは勇猛だけれど、物事の善しあしを考えないことはよくないことだ」と書かれています。

そもそも南九州においては縄文の昔から狩猟を中心に、時に厳しい自然とうまく付き合いつつ、温暖な気候に恵まれたおらかな人々だったに

違いないと思われませんが、人国記の書かれた頃は殺伐とした人々のようなイメージを受けます。古代、隼人が朝廷に支配されていく過程で狩猟や航海を中心とした生活から稲作に転換し、それを税として納めるようになったからなのかと考えさせられます。シラス台地は稲作にはとても不向きな土壌で、江戸時代以降も鹿児島民は貧しさに耐え続けました。

このような苦勞の中で豪快な気性の激しい部分と控えめで忍耐強い部

分を合わせもつ性格となったのでしよう。ただ、器が大きかったり小さかったりするようで、戦国時代は敵味方間わず戦死者の供養をしていて、朝鮮出兵の際には島津義弘らが兩軍の供養のために高野山に供養碑を建立しています。その一方で、鹿児島中央駅前の「若き薩摩の群像」というモニュメントがあります。幕末、極秘でイギリスに留学した若い人たちの銅像です。本来19人いなければいけないところ二人足りません。この二人は高知と長崎出身の人と一緒にイギリスに留学し、その後鹿児島に住んだのになぜか外されています。県外の人はお断りということなのでしょう。もしそうだとすると、器が小さいと思われても仕方がないでしょう。

先日、ある日本史の先生とお話をしていたところ新幹線の話になりました。その時に、「みずほ」も「さくら」もヤマト的でハヤトらしさがないとおっしゃっていました。大和朝廷が肥沃な土壌で稲作を始め、力をつけていったことと「瑞穂」という言葉には関連があるのです。そう考えると稲作には適さないシラス台地をもち、近年まで土壌改良で苦勞し続けた南九州の人々にとっては嫌味な気がします。気にしすぎかもしれません。

責 Ⅱ 坂

スッキリしま教室

HEALTHY LECTURE

やさしい健康講座



すこやか保健センター 富吉 有香

何事も軽いうちが肝心 「スッキリしま教室（特定保健指導）」を受けましょう

平成20年4月から40歳以上74歳以下の方を対象に医療保険者（国保・被用者保険）が行なう特定健診が始まりました。この健診は「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群、以下メタボ）」を早期に見出し、「メタボ」「メタボ予備群」の方については特定保健指導を行なうことによって、健康寿命を延ばし、医療費の抑制を目指します。

霧島市でも国民健康保険の方を対象に特定健診や「スッキリしま教室（特定保健指導）」を行なっています。「今年こそメタボを解消したい」という方を「医師」「管理栄養士」「健康運動指導士」「保健師」といった「健康づくりのプロ」がサポート。「無理なく、長続きする、わたしだけの減量作戦」を一緒に考えていきます。また、初回と3か月後、6か月後の3回、ウエルスクアン（体組成計）で体脂肪・水分・筋肉量の測定も行ないます。

平成21年度の「スッキリしま教室」では、受講された方の65%に体重・腹囲の減少、2人に1人の方が血圧、中性脂肪の値の改善がみられました。今年、特定健診を受けられた60歳以上

ココロもカラダも スッキリしま教室のご案内

開催月	今月の栄養の話 13:30～14:30	運動実技(脱ばっこりお腹エクササイズ) 14:30～15:30
① 9月	お菓子と飲み物の甘いワナ	・初めてのダンベル体操 ・自分でできる骨盤矯正法・股関節ストレッチで腰痛を軽く
② 10月	果物の甘いワナ 『毎日野菜』が元気の秘訣	・筋膜マッサージ総集編 ココロとからだの癒やし体験 ・仕上げはやっぱりリズムに合わせて有酸素運動
③ 11月	お酒と上手につきあう方法 選んでヘルシー、酒のさかな	・小顔マッサージで頭スッキリ 笑顔がステキ ・痛くならない長続きウォーキングのコツ
④ 12月	やっぱり食べたい 豆・餅・おせち	・頭・首・肩こりスッキリ 二の腕・わき肉シェイプアップ ・ソフトジムボールで脂肪燃焼筋力アップ
⑤ H24年1月	冬はやっぱり鍋奉行	・足つぼマッサージ むくみスッキリ・ヒップアップ ・チューブでくらくら筋力アップ
⑥ H24年2月	「カロリーオフ」 「カロリー控えめ」のワナ	・自分でできる骨盤矯正法・股関節ストレッチで腰痛を軽く ・初めてのダンベル体操
⑦ H24年3月	心も体も元気になる魔法の言葉	・総集編 ココロとからだの癒やし体験 ・仕上げはやっぱりリズムに合わせて有酸素運動

*各地区で行うため、日程・場所が異なります。詳しくは、すこやか保健センターへお問い合わせください。

の方全員を対象に「スッキリしま教室」を行なっています（59歳以下の方は、指定医療機関で実施）。

有酸素運動なら「シェイプアップ教室」

60歳以上の特定保健指導の対象者で、もっと日常的に動きたいという方のために、市ではスポーツクラブ・エルグテクノで月2回有酸素運動を中心とし



た「シェイプアップ教室」を行なっています。

「今んうち、いけんかせんとなあ」という方、お待ちしています。

◎ Ⅱ すこやか保健センター ☎ (42) 178

**木之房団地が
新しくなりました**

単人地区の木之房団地を建て替えました。入居者を募集しますので、希望の方は申し込みください。(申込多数の場合は抽選)

※既存の木之房団地(簡易耐火構造平屋建て)からの移転者がいらっしゃいますので、新規入居者数は建築戸数より少なくなります。

● **申込書の配布・受付期間** 9月12日(月)～30日(金)

- 抽選日 10月5日(水)
 - 部屋の種類/募集戸数 2DK/2戸、3DK/9戸
 - 設備 水洗トイレ、ユニットバス、給湯完備、プロパンガス引き込み済み、エレベーター、合併浄化槽、駐車場1区画500円
 - 家賃(見込み) 2DK/1万8700円、2万7800円、3DK/2万3100円、3万4400円
- ※家賃は所得層に応じて変動します。入居後の所得などの条件により、表示額を超える場合があります。



えて民間住宅と同等の家賃になる場合があります。※申し込みについては所得制限などの条件があります。※部屋の詳細は市ホームページ



ジをご覧になるか、問い合わせください。◎ **問・申** 建築住宅課 住宅グループ ☎(64)0909



「市民活動」とは

市民の自主的・自発的な意思に基づき、市民生活の向上を目的とした非営利の公益的な活動をいいます。市民活動には、地区自治公民館・自治会の活動やボランティア活動、NPO法人の活動、企業の社会貢献活動など多様な活動が含まれます。(霧島市共生・協働に関する指針より)

◎ **問** 共生協働推進課 市民活動支援グループ ☎(64)0988

「霧島市市民活動支援事業」の補助事業が決定

市では、市民グループが行う公益的な活動で自ら企画・提案し実施する事業を募集し、経費の一部を補助しています。平成23年度の対象事業について選考審査の結果、次の17事業を決定しました。

団体名	活動内容	補助額(円)
特定非営利活動法人「人権を守る会かごしま」	人権フェスティバルの開催	140,000
水の会	竹山ダム周辺の環境整備と文化活動	140,000
特定非営利活動法人NPOしきね	美しい湧水の郷(さと)再生活動	115,000
霧島連山登山クラブ・ボランティアレンジャーの会	霧島連山登山環境整備活動	180,000
日当山会	日当山駅周辺の活性化活動	100,000
特定非営利活動法人霧島食育研究会	霧島食育サポーター養成講座	500,000
きりしま・国分子ども劇場	子どもフェスティバルの開催	132,000
清水ほたるの愛好会	「清水ほたるの杜」再生活動	100,000
特定非営利活動法人霧島サンバイオ	竹利活用事業化プロジェクト	246,000
特定非営利活動法人霧島自然菜園倶楽部	山里遊びプロジェクト(有機農法)	500,000
ニコニコ会	高齢過疎地域におけるIT活用のいきいきネットワークづくり	500,000
よもぎの会	地域食文化等の伝承活動	150,000
エコミュージアム福山	福山活性化プロジェクト	369,000
特定非営利活動法人単人シニアネットきずな	「浜下り」における地域活性化活動	500,000
新現役の会	映山紅(キリシマツツジ)の普及啓発活動	139,000
霧島心肺蘇生の会	心肺蘇生・AEDの普及啓発活動	153,000
駅前ホテル会	ホテルの散歩道整備(牧園)	300,000

※詳しくは、市ホームページをご覧ください。



ALT(外国語指導助手)紹介

ALITは市立の幼稚園、小学校、中学校、高校で、外国語授業の補助や国際交流の補助など英語に関わる仕事をしていきます。

ケレンサ パーヴィス (平成23年8月着任)
子どもたちに生きた英語を教え、授業以外の時間も会話を楽しみたいです。
レベッカ ステュアート (平成23年8月着任)
英語だけでなく、イギリスの文化も伝えたい。部活動に参加して交流を図りたいです。
カトリーナ マッカーサー

(平成22年8月着任)
霧島の自然と気候が大好きです。来日当初は店員さんのサービスの良さに驚きました。
ジャーメイン ネルソン (平成22年8月着任)
霧島の美しい自然と温泉がお気に入りです。人々が親切で親しみやすいです。
ジェームズ ドウリー (平成21年7月着任)
豊かな自然と便利さを合わせ持つ霧島が好き。子どもたちも元気で素晴らしいです。
※ALITは全員イギリス出身



CIR(国際交流員)紹介

CIRは外国からの訪問団が来られた際の通訳や公用文の翻訳をします。さまざまなイベントや会合に出席し、外国文化の紹介や異文化交流の橋渡し役を担っています。
ステファニー ハリス (アメリカ) (平成23年8月着任)
カリフォルニア出身です。地元と霧島市の交流を深めるため、さまざまなイベントに取り組みたいです。
張日 (中国) (平成23年6月着任)
霧島市の方に中国の事を伝え、中国で霧島市をPRしたいです。日本と中国の架け橋として頑張ります。

救命の連鎖で命を救う

救命の連鎖とは、一次救命処置の119番への通報から救急隊員への引き継ぎの連鎖性を連鎖の形に当てはめたものです。この連鎖のプロセスのどれか一つでも欠けると救命の可能性はほとんどなくなるといわれています。

「大人(8歳以上)の救命の連鎖」

1. 早期通報(119番通報)
2. 早期心肺蘇生(胸骨圧迫 および人工呼吸)
3. 早期除細動(AED)
4. 早期病院搬送(救急隊への連携)

「子ども(8歳未満)の救命の連鎖」

1. 予防
2. 早期心肺蘇生(胸骨圧迫 および人工呼吸)
3. 早期通報(119番通報)
4. 早期病院搬送(救急隊への連携)

大人と子どもで順番が異なるのは、子どもの方が早期心肺蘇生に反応しやすいからです。大人の心停止の多くは心臓に原因があり、子どもは呼吸器に原因があることが多いといわれます。

心肺停止状態になってから救急隊員・医師の処置が受けられるまでに生じる数分のタイムラグ。心肺停止の現場に遭遇した一般の人々が通報、心肺蘇生、除細動を素早く実施する必要があります。

日本では、心肺停止者の救命率が欧米諸国と比べてかなり低く(日本:3~5%、霧島市:0~4%、欧米:20%超)、一般の人々に救命の連鎖の意識が浸透していないことが、一因だと考えられています。

市消防局では、「普通・上級救命講習会」やAEDの取り扱いと応急手当について学ぶ「出前講座」などを実施しています。いざという時に備えて知識を身につけましょう。

上級救命講習会

市民の救命率向上を目的とし、心肺蘇生法、AEDの取り扱い、三角きんを用いた応急手当法および患者搬送などを学習します。

- 日時 11月12日(土) 午前8時30分～午後5時30分
 - 場所 消防局消防本部3階会議室
 - 対象 市内に居住または通勤・通学している中学生以上の方。
 - 定員 30人(先着順)
 - 受講料 無料(テキスト代が2500円程度必要)
 - 申込方法 電話で。
 - 申込期間 10月1日(土)～11月1日(火)
- ◎ **問・申** 消防局警防課 救助係 ☎(64)0119



市からのお知らせや
募集などの
情報をお届けします。

詳細な情報は掲載されている問い合わせ先に、ご連絡ください。

※問=問い合わせ先 申=申し込み先
※健マ=「健康マイレージ」対象の事業

お知らせ

霧島市福祉手当を支給します

重度心身障がい児、重度心身障がい者および災害遺児の福祉増進を目的として、霧島市福祉手当を支給します(特別障害者手当などの受給者は除く)。受給資格のある方は申請してください。

※平成22年度に霧島市でこの手当を受給された方は、申請の必要はありません。

【受給資格者】

平成23年10月1日現在、霧島市に継続して1年以上住所を有し、次のいずれかに該当する方。

- 身体障害者手帳1級または2級を所持する方。
- 療育手帳A、A1、A2を所持する方。
- 身体障害者手帳3級と療育手帳B1をあわせて所持する方。
- 精神保健福祉手帳1級を所持する方。
- 不慮の災害のために父母の両方もしくは一方が死亡した義務教育終了前の方。父または母が婚姻関係(事実上の婚姻を含む)に至った方は除く。

【その他】

- 申請に必要なもの=申請する方の印鑑(認め印可)、身体障害者手帳、療育手帳または精神保健福祉手帳、本人名義の通帳。
 - 手当額=年額10,000円(10月1日現在で手帳の交付を受けてから6か月未満の方は5,000円)
 - 受付期間=10月3日(月)～14日(金) ※期間厳守
- 問・申=長寿・障害福祉課障害福祉グループ ☎(64)0995、
隼人市民課、各総合支所市民福祉課

国分市街地の空き店舗で開業しませんか

霧島商工会議所では、国分市街地の空き店舗で開業される意欲ある方に家賃補助などのバックアップをしています。

- 対象者=18歳以上で霧島市国分の中心市街地で半年以内に開業予定の方、または開業後1年以内の方。
- 内容=家賃補助1年間(家賃の50%、最大50,000円)、専門家(技術・経営)による無料指導。
- 申込方法=住所、氏名、生年月日、電話番号、業種(予定)を記入の上、はがきかファックスで。
- 申込締切=9月30日(金)

問・申=霧島商工会議所総務企画課 ☎(45)0313、
FAX(45)5662、〒899-4332国分中央3-12-41

青少年海外派遣生帰国報告会

霧島市国際交流協会では、夏休み期間中にアメリカ、マレーシアでホームステイなどを体験した中高生15人の帰国報告会を開催します。海外での体験談をぜひお聴きください。(事前申込不要)

- 日時=9月27日(火) 午後6時30分から
- 場所=国分公民館大研修室(シビックセンター内)

問・申=市国際交流協会事務局(企画政策課国際交流グループ内) ☎(64)0914

医師会医療センター 中央手術棟落成見学会

手術棟の完成に伴い見学会を実施します。これは脳神経外科の手術機能をさらに充実させるために建設されたもので、CTが装置された高機能手術室など最先端の機器を取り入れています。時間内は施設開放しますので、ご都合の良い時間にお越しください。(事前申込不要)

- 開放日時=9月24日(土)午前10時～午後3時

問=医師会医療センター ☎(42)1171

募 集

かごしま茶を使った料理教室

11月12日(土)、13日(日)に霧島市で全国お茶まつり大会が開催されます。その一環として、料理教室を開催します。



教室名	日時	内容	定員	講師
かごしま茶 親子料理教室	11/12(土) 10:00～	親子でかごしま茶を使った料理作り	親子15組	県立短期大学
かごしま茶 スイーツ教室	11/12(土) 14:00～	かごしま茶を使ったスイーツ作り	30人	鹿児島女子短期大学
かごしま茶 料理教室	11/13(日) 10:00～	かごしま茶と郷土の食材を使った料理作り	30人	NPO法人霧島食育研究会

- 場所=国分公民館調理講義室(シビックセンター内)
- 参加料=1人500円(親子料理教室は1組500円)
- 申込方法=はがきに教室名、郵便番号、住所、電話番号、氏名(親子料理教室は児童氏名、学年)を記入し郵送。※親子料理教室は大人1人に小学生の児童2人まで。
- 申込締切=10月14日(金)(申込多数の場合は抽選)

問・申=県農産園芸課茶業係 ☎099(286)3200、
〒890-8577鹿児島市鴨池新町10-1

お茶いっぺふるさとウォーク

溝辺町竹子地区の網掛川沿いの自然を満喫し、おいし

いお茶を飲みながらゆっくりと歩きますか。

- 日時=9月25日(日) 午前8時30分～午後1時30分(受付=午前8時から)
 - 集合場所=溝辺総合支所
 - 参加資格=健康で完歩可能な方(歩行距離約10^{キロ})
 - 参加料=小学生以上500円(保険料込み。未就学児は無料、保護者同伴)
- ※終了後の交流会(昼食会)に参加される方は、別途昼食代が必要です。
- 申込方法=電話かファックスで。
 - 申込締切=9月15日(木)

問・申=ふるさとウォーク実行委員会(溝辺総合支所地域振興課内) ☎(59)3111、FAX(59)3907

第4回市内史跡めぐり



- 日時=10月1日(土) 午前9時30分～正午(受付=午前9時から) ※小雨決行
- 集合場所=市立医師会医療センター駐車場
- 対象者=小学生以上
- 参加料=300円
- 内容=菅原神社磨崖仏、平熊の石橋など隼人町松永地区の史跡を徒歩で巡ります。
- 申込方法=直接または電話で。
- 申込期間=9月12日(月)～22日(木)

問・申=文化振興課文化財グループ ☎(42)1119

姉妹都市(海津市)交流事業

- 期日=10月24日(月)～26日(水) 2泊3日
- 内容=薩摩義士の偉業史跡・木曾三川公園視察、治水神社秋の大祭参列、交流会参加、高野山見学など。
- 参加資格=市内に居住または勤務し、薩摩義士などに興味があり、霧島市薩摩義士顕彰会に3年間入会できる方。
- 負担金=33,000円
- 応募方法=官製はがきに住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号を記入し郵送。
- 定員=20人(申込多数の場合は抽選)
- 申込締切=9月30日(金)

問・申=総務課市民運動推進室 ☎(64)0915

手話奉仕員養成講座(入門)

- 期日=10月11日～平成24年3月5日(毎週月曜日・全21回) ※祝日・振替休日と重なった時は火曜日
- 時間=午後7時～9時
- 場所=国分総合福祉センター会議室
- 対象=市内に居住または通勤・通学している高校生以上の方。
- 定員=30人程度
- 受講料=無料(テキスト代が別途必要)
- 申込方法=9月28日(水)までに電話で。

問=長寿・障害福祉課 ☎(64)0995

中国国際交流サロン

お茶を飲みながら、国際交流員と中国の話をしませんか。

- 日時=9月30日(金) 午後3時～4時
- 場所=国分公民館調理講義室(シビックセンター内)
- 定員=10人(申込多数の場合は抽選、少数の場合は中止になることがあります)
- 申込締切=9月22日(木)

問・申=企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

中国語&英語de読み聞かせ

中国とアメリカ出身の国際交流員2人が母国語で絵本などの読み聞かせをします。

- 日時=9月27日(火) 午前10時30分～11時
- 場所=国分公民館小会議室(シビックセンター内)
- 対象=0～3歳の子どもとその保護者
- 定員=10組(申込多数の場合は抽選、少数の場合は中止になることがあります)
- 申込締切=9月20日(火)

問・申=企画政策課国際交流グループ ☎(64)0914

パソコン講座

105/パソコン基礎講座(入門コース)

- 期日=10月11日(火)、12日(水)

106/パソコン基礎講座(再チャレンジコース)

- 期日=10月13日(木)、14日(金)
- 時間=105・106ともに午前9時30分～午後3時30分
- 受講料=各1,000円
- 会場=メディアセンター
- 定員/対象=各20人/霧島市民
- 申込方法=往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送。

※両コースを同時に申し込むことはできません。

- 申込締切(必着)=9月27日(火)
- 受講決定=はがきで通知(申込多数の場合は抽選)

問・申=メディアセンター ☎(64)0919、
〒899-4394国分中央三丁目45-1

自衛官募集

募集種目	受験資格	申込期限	試験期日
看護学生	高卒(見込含) 24歳未満の者	9/30(金)	10/22(土)
防衛大学校学生	高卒(見込含) 21歳未満の者		11/5(土) 11/6(日)
防衛医科 大学校学生	高卒(見込含) 21歳未満の者		10/29(土) 10/30(日)

問・申=自衛隊鹿児島地方協力本部国分地域事務所
☎(45)1836

8 9 9 4 3 9 4

お手数ですが
50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ _____

年齢 / _____ 歳 性別 / _____ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル _____

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□ _____

電話 (_____) _____

おたより 待ってます

この広報誌を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、霧島市への思い、あなたの周りであった身近な出来事や話題など、何でも好きなことを書いてください。

お便りをくださった方の中から長洲剛さんのサイン入り色紙を5人の方にプレゼント。応募締め切りは9月16日(金)当日消印有効です。当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。

霧島市役所 秘書広報課 行

(No.128/2011.9)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)



オシロイバナ(オシロイバナ科)

Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



Community

先 日、県外の方々が国分キャンプ海水浴場に行き海岸を散歩、桜島や海を見ながら「素晴らしい。本当に幸福な気分になります」と話されました。

でもジュース、ビールの缶、弁当の空き箱をそのまま置いて帰る心のない人が多いです。誰かが後始末する、迷惑をかけていること、今一度考えてください。海はみんなのもの、みんなで守りましょう。(H・N 74歳男性)

もいから自分でごみを拾う行動が大切なかもしれませぬ。

こ の春、暑いことで有名な埼玉熊谷市近隣(40度近い世界でした...)から越してきました。そのせいか、霧島で過ごす夏がとても涼しく、過ごしやすく感じます。わが家の子どもたちも国分キャンプ海水浴場や城山公園など自然の中でたくさん遊び、心も体もとてもたくましくなったように感じます。自然豊かで安全、人々が助け合っているのびのび暮らしている霧島市でありますように。

これからもよいまちづくりサポートができればいいなど感じています。(ラノンママ29歳女性)

霧島市は平野部から山間部まで幅広い気候。福山町の牧之原や霧島方面は平野部よりも涼しいようです。それにしても南国鹿児島が涼しいなんて熊谷市は本当に暑いところだったんですね。

私 の主人は毎日、約1時間かけて通勤しております。先日、主人の職場まで行く用事があり、つくづく、毎日の主人の苦勞が身にしみ

て「反省。もっと優しくしてあげよう」と実感しました。

8月号の「贈いの日々」を読んで、思わず胸がつまり、声が出ませんでした。毎朝、笑顔で「行ってらっしゃあ、い、気をつけてねえ」と手を振り、「今日も無事故でよい一日でありますように」と祈る日々です。いつもありがとうございます。お父さん。(ママリン52歳女性)

一瞬の不注意が今までの生活を一変させます。ママリンさんの「気をつけて」の一言に相手を思いやる気持ちが伝わります。

先 月、国分図書館で、しかけ絵本作りに親子で参加しました。こういう教室に参加するのは初めてでしたが、4歳の息子も楽しかったようで帰宅後に「また絵本作りに行こう」「今度は○○くん(弟)の分も作ってあげよう」と喜んでいました。すてきな体験をありがとうございました。(ゆうちゃん26歳女性)

高いおもちゃや遊園地だけでなく図書館で子どもたちは十分楽しんでるんですね。図書館のホームページでは、おはなし会の紹介や蔵書検索などもできますのでご利用ください。

季 節の花を求めて霧島の山を歩いています。現在も入山規制はあるもの今年もヤマキリシマ・ナッツバキを鑑賞することができました。これからは素晴らしい紅葉を見せてくれる霧島。一年を通して楽しませてくれる大自然に感謝しています。(かりんとう44歳男性)

入山規制されている場所以外にも美しい自然いっぱい霧島。皆さんも秋の霧島を楽しんでください。

東 日本大震災の被災地の子どもたちに思いっきり外で楽しんでもらおうとNPOの団体を通して子どもたちを受け入れる「家族のこころ」がニュースになっていました。

市の夏祭りは商工会議所の方々の努力によって企画され、地区公民館の祭りはそこに住んでいる館長や一部の方々の熱心な奉仕で進められていることに頭が下がります。夏祭りは一年に一度程度しか帰省できない遠隔地の方々にとって故郷との結びつきを続けられる大切な行事だと思います。霧島市の夏祭りはまちづくり、人づくりです。感謝。(名波の黄門様74歳男性)

同じ年頃の子を受け入れる「ご家族に頭が下がる思いです。先日、夫と4歳の息子が魚釣りに出かけ、「見てえ、お魚4匹つれたの。2匹はお昼寝してるんだあ。暑いからね」とニコニコ顔。えっ、お昼寝...。そう、2匹はプカアと浮いていました。息子の言葉がほほえましく、こんなさやかな日常を心底幸せに思いました。

お母さんたちが子どもたちを安心して外に送り出せる日が早くくることを祈ります。(パン教室6班40歳女性)

暑い夏でも長袖を着ている子どもたち。避難生活を続け、家に帰れない人たち。私たちにできることは支援とその人たちの忘れられないこと。

楽 しかったとある地区の夏祭り、一つだけ残念なことがありました。娘がくじ引きで当てた人形を持っていたのですが、そこに2歳くらいの女の子がやって来きて娘の人形をとって返さないのです。小さな子を叱るわけ

にもいかず「返してね」と言い、娘も気を使って何も言えずにいましたが泣き出してしまいました。やっとおばあちゃんが来て主人に謝っていました。でも母親らしき方は気づいているはずなのに、見て見ぬふりをしているようで大変がっかりでした。

こういうときは親が子どもにダメなことを教えるべきだと思います。(ピンクパンサー35歳女性)

子どもは悪くないと思うのです。悪いことは悪いと言え、親にならなければと改めて思うことでした。

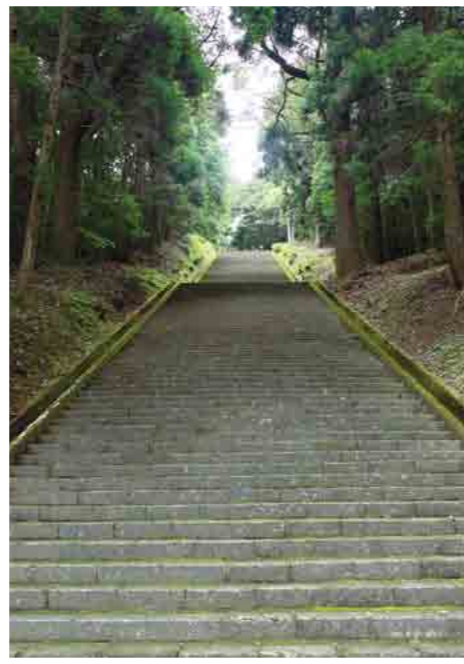
今 年は地域公民館の夏祭りに参加し、大勢の人で盛り上がり感動しました。16回目を迎えた川原夏祭りに約300人、6回目の上小川夏祭りには約500人の参加、内容も豊富でいずれも最後は総踊りと抽選があり、約3時間余りがあったという間に過ぎ、「来年も元気で集まるう」との掛け声で終わりました。

地域の行事は普段顔を合わせる事のない人との出会いの場。ましてや夏祭りなどはよそから帰省している人もいて懐かしい出会いもあります。その出会いの場を提供し運営して下さる人々に感謝です。

この他8人の方からおハガキをいただきました。ありがとうございます。 ※文書は添削させていただきます。場合がありますので予めご了承ください。

私たちが鹿児島にやってきたのは、西暦2000年。ちょうどミレニアムな年の春のことでした。
鹿児島人の夫とは彼の大学時代のサークル関係のつながりで知り合い、結婚後はそのまま関東で暮らしておりました。自分自身の仕事の都合もあり、私はずっとこの地元横浜か、便利な関東近辺で暮らしていくものと思っていたのですが、鹿児島という途方もなく遠い異郷の地であっていいのか、本当に不安でした。夫の出身も鹿児島本土ではなく

高屋山上陵(溝辺)に続く階段がお気に入り



奄美大島という離島でしたので、感覚的にはヒターンというよりイターンに近い。夫婦二人とも初めての地、大隅半島の高山町というところで、私たち一家の鹿児島生活はスタートしたのでした。
鹿児島に来て、まず根本からリセットされたのは距離感でした。
それまでは、電車バスは数分おきに来るし、夜中まで便があるのが当然という街の生活だったのが、高山町に来てまず驚いたのが、大人一人に車が1台なくては生活が成り

立たないという事実でした。そして、ちょっとそこまですべては数十キロの距離を指し、すべコンコよ、と教わった場所までは田んぼ道を数キロ走ってやっと着く…というあんばい。
東京時代、遠いなあ…とポヤいていた距離は、歩きかチャリで充分いける！とこりゃ一泊旅行だ〜と思っていた距離は、余裕の日帰りコースとなりました。車での外出は、以前とは比べようもないくらい用心深くなり、ガソリン残量と空気圧は必ずチェック

星明かりで 最高の贅ぜいたく沢たくを

◎町 淳子

(それまでは全く気をつけてなくてゴメンナサイ…汗)。一度、大隅の太平洋で道に迷ってからは、ガス欠は命に係わる！と肝に命じている次第です。トホホ…
高山町から横川町、そして溝辺町と、じりじり空港に近付きつつ移動を繰り返してきたわが家も、溝辺に住んでもう5年経ちます。
霧島に来てからは、生活の折々に、男気溢れる薩摩おごじょたちに助けてもらい何とかやってきました。未だ慣れない事はかりでまごつく私たちを、温かく励まし、導いてください。
鹿児島は女性で回っていると、私もつくづくそう感じています。控え目でありながらも少し引いた所で全体に目を光らせ、必要なテコ入れを必要な時にする。鹿児島女性総篤姫状態とも言えます。どうか。本当にいろいろお世話になっております。ありがとうございます。(この場を借りてお礼も言っとこう…)

霧島は、晴れならいつも天の川が普通に見えるほど星空がきれいです。「星明かり」という言葉が想像の中にしか存在できない都会と違い、実際の星の光がこんなにも明るく美しいものだ。日々の中で感じられることは、最高の贅沢なのかもしれない。霧島に来てよかったな、としみじみ思う今日この頃なのです。



平成21年に町さんがイラストを描いたポスター

Profile

まじじゅんこ (46)
神奈川県横浜市出身。関東で鹿児島出身の夫と生活していたが、平成12年、夫の仕事の都合で鹿児島県肝属郡高山町(現在の肝付町)に移住。その後、横川町で2年半生活し、平成17年から溝辺町で暮らす。現在はイラストレーターの仕事をしながら、家族6人で日々楽しく過ごしている。



霧島市携帯サイト



携帯電話からも、霧島市の情報をご覧ください。パソコンをお持ちでないかたも、インターネット接続可能な携帯電話を利用して、霧島市ホームページの情報の一部を検索できます。

◎人口 / 127,756人(+29)
男性 / 61,447人(+26)
女性 / 66,309人(+3)
出生111人 / 死亡104人
転入357人 / 転出341人
◎世帯数 / 58,235世帯(+76)
(平成23年8月1日現在)

↑点線に沿って切り取ってください。(官製はがきでも可)

PRESENTS

お便りをくださった方の中から

長瀬 剛さんの サイン入り色紙プレゼント

福島第一原発の影響で避難生活を続けている福島県浪江町の子どもたちを霧島市に招待した長瀬剛さん。子どもたちとの旅の最後の夜に書いたサイン入り色紙を5人の方にプレゼントいたします。



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。



霧島田口 千滝
8月21日 午後6時22分

今月の表紙

マイナスイオンとフィトンチッドを求めて、いざ出発。隼人からでも車で約25分。千滝に見とれながらの撮影のひととき。世間の騒がしさを、忘れさせてくれる瞬間について足を運んでしまします。千滝(土石流堆積物を覆う新燃岳からの溶岩を高千穂河原から流れる小川が浸食して形づくられた滝。岩壁の中腹から流れ出る潜流瀑=出典:霧島ジオパークHP)

【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ18~200mm
F3.5~5.6 1.6S F8.0 ISO100

今回取材したハーモニカ演奏のボランティアをしている東郷スミ子さん(88)。取材が終わって帰り際「けんちゃん、飲みに行こうか」と冗談を言うほどの元気よさ。私より58歳も年上ですが背筋を伸ばして奏でる音は素人の私が聞いても本当にきれいな音色でした(は)

福島の子どもがコンビニに置いてあった震災の募金箱をじっと見つめていました。ホストファミリーの方が「これで募金しておいで」と100円を渡すと、うれしそうに募金をしていました。遠く離れたまちで見つけた小さな絆は、子どもたちの心にしっかりと届いています(み)

ふっかんを作ってくれた徳田さん、話を聞かせてくれた隼人庵の林さんご夫婦。皆さんの優しい対応に、取材を終えて幸せな気分になった。さすが「福の羹(羊羹)」。帰省中の方が懐かしい味を求めて買いに来る場面にも遭遇。これからも多くの人々に福が届きますように(う)

息子の試合が牧園アリーナであり、友達3人も車で送った。早くついたのでいい景色を見せてやろうと車を走らせたがみんな寝ている。アリーナに着くと3人の子どもはふらふら。どうしたのかと聞くと「車に酔った」だって。寝ていたのではなく気持ちが悪かったらしい(た)

市長コラム 前田終止 第二のふるさと

6月末、歌手の長瀬剛君から電話があった。「原子力発電所の事故のため屋外で遊べない子どもたちを霧島市で思いっきり遊ばせたい。協力をお願いしたい」。今から15年前、県議会議員時代、阪神淡路大震災で親を亡くした子どもたちを元気づけようと屋久島でのキャンプを依頼された時と同じように。彼の志に快諾したものの、受け入れの組織をどうするか悩んだ。キャンプのプロの生涯学習課は夏場が繁忙期。各種団体の青年部の皆さんは夏祭りなどで忙しい。福島県人会の皆さんはからも交流と協働し霧島の子どもの受け入れ。そんな時、おやじの会の皆さんが福島への支援活動を継続されていることを思い出し依頼した。運営はすべてお任せしたが、どんとんと支援の輪が広がっていった。医療ボランティアの中には、わが子を実家に預けてまで親身に子どもたちに寄り添ってくれた人もいた。そんな霧島人の絆の豊かさに長瀬君や福島っ子から最高の感謝の言葉をいただいた。霧島が第二のふるさと。絶対に帰ってきます」と。